

## 栗原市ソフトテニス協会

平成9年7月に、当時の志波姫町の（故）菅原信行氏（2代会長）、瀬峰町の（故）大場修氏、志波姫町の高橋安寿氏（現会長）と鶯沢町の津軽宗男などが発起人となり、栗原郡内の小学生を対象としたスポーツ少年団の指導者、郡内中学校や高等学校の外部コーチが中心となり組織名を「栗原地区ソフトテニス連盟」と称し、初代会長に瀬峰町の佐々木政一氏が就任に発足しました。

当時の栗原郡内の選手の実力は、宮城県内のソフトテニス界ではトップレベルの登米郡が一步も二歩もリードしており、栗原・登米地区の各種大会ではなかなか上位に入賞できるレベルできませんでした。郡内の指導者各々が別々の校種等で頑張っているが、成果がなかなか出ない状況にもあり、是非、組織化して一致団結し、この栗原の地より東北や全国の大会の場に児童・生徒を送りたいという高い意識の基に結束いたしました。

まずは、栗原郡内全体のレベルアップを目的に他地区との交流を図ろうと考え各種大会を主催することとしました。また、元全日本女子監督の大野美沙子ナガセケンコー監督などを招聘して我々指導者の指導力向上にも努めました。

ここで、当協会が主催している各種大会をご紹介します。

### [小学生対象]

- ・平成13年度より開催 『栗原・登米地区小学生学年別ソフトテニス大会』  
[小学生の低学年・中学年・高学年の部]
- ・平成12年度より開催 『宮城県北小学生ソフトテニスインドア大会』  
[小学生の低学年・中学年・高学年の部]

### [中学生対象]

- ・平成9年度より開催 『栗駒山麓選抜中学校ソフトテニス大会』  
[団体戦による学校対抗戦]  
(築館テニス協会主催より平成10年度より引き継ぐ)
- ・平成8年度より開催 『栗原市中学生学年別ソフトテニス大会』  
[中学1年生・2年生の部 個人戦]  
(築館テニス協会主催より平成10年度より引き継ぐ)
- ・平成11年度より開催 『栗原市中学校ソフトテニス秋季研修大会』  
[団体戦による学校対抗戦]  
(栗原郡中体連の新人大会が一日日程となり、団体戦をこの大会が受け継ぐこととなった。)
- ・平成12年度より開催 『栗原地区隣接中学校選抜ソフトテニスインドア大会』  
[団体戦による学校対抗戦]

### [高校生・一般対象]

- ・平成12年度より開催 『栗原市ソフトテニスインドア選手権大会』  
[団体戦による学校・チーム対抗戦]
- ・平成22年度より開催 『栗原市ソフトテニスインドア大会』  
[男女別の個人戦]

### [小学生・中学生・高校生対象]

- ・平成17年度より  
平成24年度まで開催 『栗原市ジュニアソフトテニス大会』  
[U-14の部 小学5年生から中学2年生まで]  
[U-18の部 中学3年生から高校2年生まで]

一つは、地区内の小学生のレベルが上がり中学生との交流を目的とした。

また、県新人大会へ出場する中学2年生を「U-18の部」に出場させレベル向上を目的とし、中学3年生で参加希望者は高校との繋ぎ等も考慮した。

しかし、高校の地区新人戦や中学校の文化祭により日程の都合がつかなくなり平成25年度より開催を中止しています。

[栗原市内のソフトテニス愛好者を対象]

- 平成18年度より 『栗原市ソフトテニスの祭典』  
[現 栗原市スポーツ協会推進事業]

平成18年に日本ソフトテニス連盟が、全国での「ソフトテニス」の更なる普及を目的として、毎年10月の第3日曜日を『ソフトテニスの日』と制定したのを機に、栗原市ではいち早くこの主旨により栗原市内での普及を目的とした事業を継続して実施しています。



[令和元年度の推進事業の様子]

- 平成29年度より 『愛好会による練習会』

築館コートの落成により、社会体育施設でのコートの使用が可能となり、3月から11月までの毎週土曜日の夕方に練習会を開催している。現在では、一般の社会人に混じり高校生の部活動の補填として参加している生徒も多くなっている。

※ このような各種事業を運営するに当たり、若手の協会会員の不足が現時点での大きな問題となっています。是非、旧町村単位の加盟団体に所属していただき、地元の栗原のために協力をお願いしたいと思います。

[栗原市内の全国大会出場者の思い出]

平成13年度に、栗原から「全国小学生ソフトテニス大会」の5年生の部（女子）にも出場した、鹿野 怜・佐藤ちづる ペア（志波姫ソフトテニススポーツ少年団）と高橋志乃・高橋なぎさ ペア（鶯沢ソフトテニススポーツ少年団）の2ペアと長命ヶ丘ジュニアの小野寺・安藤ペアの6人で、現在も毎年年末に各都道府県から選抜されたペアでの団体戦形式で埼玉県熊谷市で開催されている『第1回 KENKO CUP 全国ジュニアソフトテニス大会』に出場して、見事優勝して宮城県が初代チャンピオンとなりました。

その後、鹿野 怜・佐藤ちづる は共に、志波姫中学校でも東北大会に出場、高校ではウルストラ英知学園高等学校でインターハイにも出場している。また、高橋志乃も、鶯沢中学校で東北大会、高校は常磐木学園高等学校へ進みインターハイの出場と全国高等学校選抜ソフトテニス大会（女子団体）の優勝メンバーとなっている。

平成24年度の山梨県甲府市で開催された『第43回 全国中学校ソフトテニス大会』の個人戦に参加した 齊藤 空・丹治圭蔵 ペア（志波姫中学校）は、1回戦を神奈川県の小鮎中学校の近藤・飯田ペアを④—0で破り、2回戦を岐阜県の陶都中学校の北原・加藤ペアを④—1で破りました。3回戦は、岡山県の岡山理科大附属中の吉信・上松俊貴ペアに3ゲームを先取されるも追いつきファイナルの末破れてベスト16に終わりましたが、たればの話にはなりますが、この上松（中学2年）ペアは、個人戦の優勝ペアでした。サウスポーの齋藤君のボールの出どころが、当時の上松君でも手こずっていたように感じられました。この上松俊貴君は、小・中・高・大とすべてのカテゴリーで全日本優勝を果たした選手で、2020年度のナショナルチームのメンバーでもあります。また、高3で望んだアジア選手権大会では金メダルを獲得、ソフトテニス界で日本勢初の高校生金メダリストとなっております。

※「ソフトテニス」とは、日本発祥で1900年にゴムボールを国産化して全国に普及していくこととなったスポーツです。日本ソフトテニス連盟が平成4年に国際化を図るため、110年以上続いた名称「軟式庭球」から国際普及のため改めました。

令和2年度 役員名簿

役 職 名	氏 名
会 長	高 橋 安 寿
副 会 長	中 島 勝 裕
〃	阿 部 さ ち
理 事 長	津 軽 宗 男
副 理 事 長	野 田 哲 史



令和2年9月 現在

[栗原市ソフトテニス協会会員]

(文責 津軽理事長)